

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 221

令和7年6月1日発行

CONTENTS

3月定例会

町長・教育長の予算編成の概要説明に対する代表質問・・・p. 2

- ・町内の課題解決への取り組みは
- ・道路の補修は喫緊の課題である
- ・希望あふれる当別町に

町道修繕、自動運転バス、遊具など多岐にわたる審議・・・p. 5

令和6年度補正予算審議、各常任委員会、令和7年度予算審査

6人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.14

- ・町民の移動ニーズの持続的な確保
- ・養育費の保証と屋内の遊び場整備
- ・町民の希望に寄り添う環境整備を
- ・将来的課題の方向性と取り組み
- ・特殊詐欺被害の撲滅に向けた施策
- ・役場の職員体制と小中一貫教育



あいあい公園に設置予定の大型コンビネーション遊具 完成イメージ



代表質問

会派清流

やま だ あきら
山田 明 議員質問の
ねらい

町内の課題解決への取り組みは

医療大の移転問題、役場新庁舎の建設、少子高齢化、人口減少、まちづくり計画の見直しなど、克服しなければならない課題は山積している。3年後の医療大の移転を見据え、商工業の活性化、観光資源の活用・

創出について、令和7年度はどのように取り組む考えか。また、今年7月に予定されている町長選挙について、多くの町民が再選出馬を期待しているが、町長の考えは。

ここが聞きたい 医療大移転後の影響と対策

問 医療大移転による影響と対策は。千歳市のラピダスを中心とした北海道バレー構想に関連し、大学跡地を人材育成拠点となる施設の誘致等は検討しないのか。

答 アパートの空室、飲食店の利用客減少等を懸念。観光振興、企業誘致で、交流・関係・定住人口の増加を進める。DX・GX 関連の誘致も、土地・施設の所有者である大学と協議を進める。

ここが聞きたい 役場新庁舎の建設の考えは

問 駅周辺再開発プロジェクトの役場新庁舎の建設について、耐震化に対する調査の結果や今後の検討の在り方の考えは。また、令和7年度中に新庁舎建設を決断するのか。

答 委員会では、耐震改修ではなく建て替えの議論に移行すべきとの見解。候補地や建設手法など委員会の検討結果に基づき、町として新庁舎建設の判断をする。早期に判断できるよう取り進める。

ここが聞きたい 商店街の空き店舗対策は

問 商工会やアパート組合と連携し空き店舗やアパートの空室に対する早急な対策が必要では。また、町営住宅における民間アパートの活用に向けた具体的かつ早急な対応についての町長の考えは。

答 1月からアパート・マンション引越応援事業と空き店舗等活用促進事業を開始。札幌市内の民間アパート、マンションの建設動向等を注視し、町営住宅としての借り上げなど次なる対策を検討する。

ここが聞きたい 観光資源の活用、創出は

問 近年、ロイズタウンや道の駅を中心に観光客は増加傾向。インバウンド客を本町に引き込む観光事業として、有効と考える場所や事業は。また、どのように情報発信を行い誘客へつなげるのか。

答 伊達家の歴史に焦点を当てた観光ツアーを造成中。インバウンド特集ページの製作やパンフレットの多言語化を行い、主に台湾・香港に向け情報発信し、さらなる誘客に向け取り組みたい。

ここが聞きたい 町長選挙への出馬要請

問 当別町の未来を創造し持続可能な当別町の実現のため、そして山積している課題克服に向け、2期目の町長選挙へ出馬していただきたいが、町長の考えは。

答 持続可能なまちづくりを目指すため、これまで以上に新たな発想や工夫が必要。多くの議員の方々の要請を重く受け止め、それに応えて共に町が抱える課題解決に向け挑戦する決意を固めた。



伊達記念館の内部



代表質問 会派緑風会 しまだ ゆうじ 島田 裕司 議員

質問の
ねらい

道路の補修は喫緊の課題である

生活道路を含む町道の改修、維持管理については、道路の凹凸をはじめ、舗装の損傷、行き止まり路線など、町道の老朽化問題をはじめとする道路全般に対する町民の要望が、特に目立ってきていると感じること

から、重要な喫緊の課題として町は取り組むべきである。特に、町道認定のされていない生活道路については、町は何らかの維持、補修の支援をしてはどうかと考える。



動画はこちら

ここが
聞きたい

新庁舎建設はいつ公表に

問

予算編成の概要にて、新年度、新庁舎建設に向けて建設場所や建設手法などの検討を進めるとあるが、町長自身が新庁舎建設に向けて大きく舵を切ったという判断をしたということなのか。

答

現庁舎の耐震化調査結果を踏まえ、委員会の総意として建て替えへの議論に移行すべきとの見解が示され、私自身も同様の判断である。新庁舎建設に向けた検討を進めていきたい。

ここが
聞きたい

町道の維持管理は

問

道路の凹凸をはじめ、町道の老朽化に伴う道路の損傷が増加し、町民から改修、維持管理への要望が高まっている。町は維持管理は重要な課題と認識し、重点施策に加えるべきではないか。

答

道路維持は、職員や道路管理の受託事業者による定期的なパトロールを行い、修繕が必要な場合には適宜修繕を実施してきている。今後も引き続き安全な通行の確保に努めていく。

ここが
聞きたい

生活道路の維持に支援を

問

地域の多くの住民が利用している町道認定のされていない生活道路に対し、町は何らかの維持補修の支援をしてはどうかと思うがいかがが。

答

生活道路とは私道を指すと認識するが、その管理は土地の所有者や管理者または道路利用者が行うもので、町で管理するものではない。一部地域での除雪は、行政サービスと理解して欲しい。



道路の凹凸に雨水が溜まっている様子（イメージ）

ここが
聞きたい

町営住宅入居者の声は

問

町はこれまで町営住宅の整備戸数や廃止について検討し、町営住宅の再生マスタープランや長寿命化計画も策定している。民間アパート等の空室活用との整合性は図られるのか。

答

現町営住宅長寿命化計画の中でも民間活力の導入も含めた検討を進めることとなっているため、整合性は図られているものと考えている。

ここが
聞きたい

河川改修は道路と一体的に

問

浚渫工事が行われる予定のトヨベリ川は町道17線道路に沿い、交差する。河川の改修と併せ道路や歩道整備も検討を。

答

これまでも、今後も河川、道路の改修においては、一体的な整備を進めており、改めて整備計画を作成する予定はない。

【その他の主な質問項目】

新庁舎の建設候補地に旧公民館跡地が加わった経緯について など

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

希望あふれる当別町に

これまで町は様々なプロモーション活動に精力的に取り組んできており、子育て世帯の増加など評価しているが、外部の知見を取り入れ町全体のPRをプロデュースするような取り組みが効果的であると考えている。

まちを守り、町民の生命・財産を守るには自助、共助、公助の連携が基本である。町は自助の意識変革への取組、共助である自主防災組織がかかえている課題に寄り添い対策や後押しが必要ではないか。

ここが聞きたい 効果的なプロデュースを

問 町全体をプロデュースする取り組みができると、より移住促進の面で効果的なのでは。外部の知見をうまく取り入れ、弱みを強みに変えて発信するなどの取り組みを継続的に行うべきでは。

答 移住、定住促進を目的にテレビやSNSを活用したプロモーションを実施。新年度も行き届いた除雪など住みやすい町であることのほか、情報を新たに加え町全体の魅力を発信していきたい。



冬のスウェーデンヒルズ

ここが聞きたい 安心・安全の当別町に

問 町を守り町民の生命・財産を守っていくため自助・共助・公助の連携が大事である。さらに自助の意識変革に取組み共助である自主防災組織が抱える課題に寄添う対策や後押しが必要では。

答 同じ認識である。昨年11月には専門家を招き、自主防災組織向けのセミナーを開催した。今後も各地域の関係団体と積極的に連携し、自主防災組織の活性化に努めていきたい。

ここが聞きたい 情報化社会を生きる

問 今後、教育現場でもICTの利用が進み、子どもたちも情報化社会を生きていくことになるが、情報の取り扱いや取捨選択の判断などの教育や、ICTを活用した様々な学びに対する考えは。

答 メディアリテラシー教育、情報モラル教育、プログラミング教育や探究学習を通じて情報収集、分析の力を養う。学びを支える手段として活用し、主体的な学びを促すよう教育活動を進める。

ここが聞きたい 図書館の今後

問 図書館の移転リニューアルの話は進んでいない状況と認識している。先日イベントでは古本市が盛況であり、電子化が進む中でも本の人気はまだ根強いと感じたが図書館の後は。

答 時期は未定だがJR当別駅南側に建設予定の民間ビルに図書館を移転させる考えを継続している。また、新年度から当別町図書館の閲覧室にエアコンを設置し、利用環境の改善に努めていく。



当別町図書館「ふくろう図書館」内部

